



三春中学校だより

第 41 号

発行日 平成30年11月2日
発行所 三春町立三春中学校
電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978
E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【三春町小中学校音楽祭が開催されました！ ～町中の小中学校が音楽で結ばれました。～】

10月31日（水）は、平成30年度の『三春町小中学校音楽祭』の日でした。本校よりは、特設合唱部と吹奏楽部が参加し、『ドラえもん』と『名探偵コナン』の演奏に取り組み、会場から拍手喝采を浴びました。後日、他校の校長先生や町教育委員会様よりも賛辞をいただき、校長としてうれしい限りでした。子どもたちと顧問の、『がんばり』の積み重ねに心より賛辞をおくりたいと思います。各小中学校や事務局の事前の準備や当日の演奏・運営等はいへんでしたでしょうが、プロが演奏会を行うような町自慢のすばらしい施設で学習の成果を発表できる経験はとても貴重なものですし、何より、小学生同士、小学生と中学生が、音楽でつながり、音楽を通して文化交流が図られ、町の子どもたちが町民歌『栄えよ 三春』や全員合唱『翼をください』で一つになり、町全体で音楽文化の振興を図る機会として、なくてはならない取り組みであるという感を強くしました。すばらしい音楽会でした。



【新聞社田村支局長さん来校！ ～北海道地震へ義援金をおくりました。～】

10月30日（火）に、福島民報社田村支局長さんがおいでになり、本校生徒会が取り組んだ北海道地震への義援金募金活動の結果集まった善意の心を寄託しました。

校長室で、新聞社さんを前にやや緊張した面持ちの生徒会執行部の面々。インタビューを受けたり、撮影に応じたりしたあと、義援金を手渡しました。

その様子は、11月1日（木）付の同紙新聞の朝刊にも掲載されました。7名の生徒会執行部のみなさん、お疲れ様でした。また、義援金をお寄せいただいた生徒・保護者のみなさん、先生方、ありがとうございました。

生徒会のみなさんは、これからも、自らの生活を深く見つめ、よりよいものにしていく働きかけを本校において取り組むとともに、社会全体にも広くその視野をむけ、三春中学校生徒会ができることを考えていってほしいと思います。保護者や地域のみなさん、応援をよろしくお願いいたします。



【具体的目標をもって！ ～“技能・技術は一生もの”というお話をいただきました。～】

10月27日（土）の町内小学校の学習発表会に続き、10月28日（日）には、本校の卒業生も

学んでいる、郡山にある今泉女子専門学校の学園祭に参加させていただきました。前日とこの日の2日間、学園祭は行われていたそうです。

校長先生のお話では、「本校では、自らの手で作り上げることを大切にしている。指導はするが手伝うことはない。自らの手で作り上げる喜びをより多く味わわせ、人を美しくすることで喜びを得させるようにしたい。そうすることで、自分のため、人のためという社会貢献の意識も身につけてくる。身につけた技能は80年、90年と年をとってもなくなることはない。」とお話されていました。

その後、職員の方から、学校についてさまざまな説明をいただき、その後、学園祭の校舎を見学して回りました。技能検定のきれいな縫いあとを見たり、和裁・洋裁の作品を見学したりしました。その後、生涯で初めて、ファッションショーなるものを拝見しました。生徒のみなさんが自らの力で作り上げた着物や洋服、ウェディングドレスなどを実際に着用してランウェイを行ったり来たりする姿を拝見し、美しいなあ、がんばったなあと心から感心しました。

本校では今、3年生が三者面談の真っ最中です。夢でも希望でもいい、自分の進むべき道や将来像を見据え、または、探し求めるために、担任の先生とよい教育・進路相談ができればいいなと心より願います。



【またまたすばらしい清掃に出会いました！ ～床がピカピカです。～】

検食の際、お汁をこぼしてしまいました。慌てて、ウェットティッシュでゴシゴシ拭きました。拭いたウェットティッシュは真っ白なままでした。

できるだけ清掃の際には、子どもたちと一緒に雑巾がけをすようにしています。校長室と会議室とで結構な面積になりますが、子どもたち4人と私の5人でがんばっています。ただ、子どもたちは毎日、私は時々ですが、ごめんなさい。

掃き掃除から始まり、雑巾がけで1セット。椅子やソファの下まで、ほうきや手を伸ばして、きれいにしてくれます。全くの無言で、心を込めて取り組む清掃ですので、いつでもお客様を通せるすがすがしい環境でいることができます。校長室掃除にやってくる子どもたちはこれまでもそうでしたが、本当にお掃除が上手です。心がこもっています。信頼できる子どもたちです。



【保健体育の授業で武道の学習に取り組みました！ ～“礼に始まり、…”～】

10月26日(金)から、保健体育の授業で、剣道の学習に取り組んでいます。武道の授業は、必修となっており、日本にある武道の中から選択し、その精神も含めて日本文化の一つとしても学んでいるというものです。

11月1日(木)の1・2校時目は、1年生の体育の授業で、柔剣道場の板の間に体育座りし、講師の佐久間明先生からお話をいただくことから授業が始まりました。竹刀、木刀、真剣を実際に拝見しました。真剣を抜いたときは、いつもながら、その研ぎ澄まされた刃先や色に一瞬緊張が走りしました。佐久間先生からの「どこがいちばん切れる？」との質問に、野球部の生徒、バットのスイートスポットの辺りではないかと指さして答えていました。子どもたちは、いろいろなことを学び、日本人として、国際人として、社会人として、自立した人間として成長していきます。

